

ジュニア男子74kg級 ベンチプレス選手権大会優勝 日本新記録を樹立



181kgのバーベルを持ち上げる坂下さん
写真提供：(公社)日本パワーリフティング協会

10月31日〜11月1日、第21回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会が徳島県で開催され、坂下竜一さん(法法3)がジュニア男子74kg級で日本新記録(181kg)を樹立し、見事優勝を果たした。

ベンチの台上で仰向けになり、バーベルと呼ばれる重りのついた器具を胸まで引きつけ、一気に押し上げる。ベンチプレスは、その重量を競う競技だ。本大会には、全国から力自慢のアスリートが集結し、己の限界に挑戦した。

坂下さんは高校2年生の春から、運動不足解消のために市営のジムに通い始めた。そこで、初めてベンチプレスに触れたという。当初は単なるトレーニングの一環として行っていたが、ある時、競技としてベンチプレスを行っていた高校OBと出会った。指導を受けながら練習を重ね、その年の秋、初めて東京都大会に出場した。

「練習すればするだけ、持ち上げられる重量が上がっていく。その達成感が魅了され、気が付いたら競技にのめり込んでいた」

坂下さんは高校2年生の春から、運動不足解消のために市営のジムに通い始めた。そこで、初めてベンチプレスに触れたという。当初は単なるトレーニングの一環として行っていたが、ある時、競技としてベンチプレスを行っていた高校OBと出会った。指導を受けながら練習を重ね、その年の秋、初めて東京都大会に出場した。

「練習すればするだけ、持ち上げられる重量が上がっていく。その達成感が魅了され、気が付いたら競技にのめり込んでいた」

本大会に向けては、これまで以上に厳しいトレーニングを課した。学業の傍ら、週に3〜4日、1回のトレーニングに5時間もの時間を費やし、自身の限界に何度も向き合ってきた。

その甲斐もあって、2位以下を40kg以上も引き離した優勝と、日本新記録樹立というダブルの快挙を成し遂げた。

「嬉しい結果となったが、気持ちは世界選手権へと向いている。さらなる日本記録の更新ともなう、世界一、世界新記録の樹立を目指してトレーニングに励んでいる」と、本大会を振り返りつつ、10月にカザフスタンで行われる世界大会への抱負を語った。

野の研究者が、同じテーマに沿って具体的再考察を展開していく。時間軸、空間軸ともに古今東西の広範囲に考察対象を設定し、演劇が内包する暴力性・衝動性に光を当てて、その本質をどう捉えようとする試みが綴られている。また、能の所作についての論考は、西洋演劇を中心に展開されてきた劇芸術の定義自体に一石を投じるであろう。(全編フランス語、2000円+税)

野の研究者が、同じテーマに沿って具体的再考察を展開していく。時間軸、空間軸ともに古今東西の広範囲に考察対象を設定し、演劇が内包する暴力性・衝動性に光を当てて、その本質をどう捉えようとする試みが綴られている。また、能の所作についての論考は、西洋演劇を中心に展開されてきた劇芸術の定義自体に一石を投じるであろう。(全編フランス語、2000円+税)

SUP
上智大学出版
新刊紹介

『演劇とスキャンダル』東洋・西洋、初期近代から現代まで『フランソワ・ルセルクル』小倉博孝【編】

演劇とはどのような芸術なのか。スクリーンという切り口を通して、フランス・アメリカ・イタリア・日本の各分野の研究者が、同じテーマに沿って具体的再考察を展開していく。時間軸、空間軸ともに古今東西の広範囲に考察対象を設定し、演劇が内包する暴力性・衝動性に光を当てて、その本質をどう捉えようとする試みが綴られている。また、能の所作についての論考は、西洋演劇を中心に展開されてきた劇芸術の定義自体に一石を投じるであろう。(全編フランス語、2000円+税)

全国主要書店および伊國屋書店上智大学店で販売中。

2020年度学長賞

2団体および個人2人が受賞



神野帆夏さん 西本拓海さん
坂下竜一さん 村上友太さん

2020年度学長賞の受賞者が決定した。同賞は、創立100周年記念事業の一環として2009年に設けられた学生表彰制度。本学の学生または学生団体で、スポーツ・文化・芸術・環境・地域・社会貢献、国際交流、ダイバーシティ・共

今年度は2団体と個人2人が受賞した。受賞者および受賞理由は、次のとおり。

■ Welcome to Sophia 2020 (代表：西本拓海) / コロナ禍の新人生支援を目的に、学生有志18人が立ち上げた団体。大学生活に関するアドバイスや、課外活動の紹介など、新入生の不安や疑問解消を目的に、ライブ動画配信等を多数手がけた。これらの動画は4万回以上再生され、学内外から好評を得た。短期間で質の高いコンテンツ配信を続け、新入生のために尽力した。

■ 神野帆夏(外英4) / 20年オリンピック・パラリンピックを契機に共生社会の実現を目指す学生

団体「Go Beyond」を設立。代表の一人として活動を牽引した。他大学の学生団体との連携プロジェクトの立ち上げや、次世代育成のための活動にも注力し、メディアでも多数取り上げられている。リーダーとしての姿勢・行動と、活動を通じて本学の名誉向上が高く評価された。

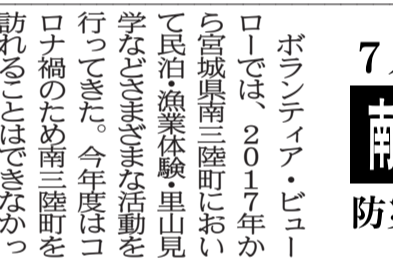
■ 上智国際法研究会(SILC) (代表：村上友太・法法3) / 世界中から700校以上の大学などから参加する国際法模擬裁判大会の国内予選で準優勝し、日本代表として世界大会に出場。同大会

では、書面で134校中第11位の成績を収めて表彰された。この成績は日本代表として出場した大学の中で近年最も優秀な成績である。同団体は、2010年にも予選を準備して通過して世界大会に出場したが、今回は前回を大きく上回る成績を残した。

■ 坂下竜一(法法3) / 20年のジャパンクラシックベンチプレス選手権大会の74kg級ジュニア部門において、日本新記録(181kg)を樹立し優勝。21年世界選手権の内定を獲得した。坂下さんは19年にも同大会で20年の世界選手権の出場権を獲得していた。残念ながら昨年の大会はコロナ禍の影響で中止となったが、今年の世界選手権で

ボランテア・ビューローでは、2017年から宮城県南三陸町において民泊・漁業体験・里山見学などさまざまな活動を行ってきた。今年度はコロナ禍のため南三陸町を訪れることはできなかった。

7人の学生によるプロジェクト
南三陸とつながるオンラインイベント
防災・産業・働き方・食をテーマに



だが、7人の学生プロジェクトによる「南三陸とつながるオンラインイベント」を実施。12月から2月にかけて4回の企画を行った(協力：一般社団法人南三陸町観光協会)。

第1回のテーマは「地域の防災」。「バーチャルまちあるき」では、語学・産業界の専門家による講話を実施。ASC(水産養殖管理協議会)認証、FSC(森林管理協議会)認証取得の取り組みや、そのことによる環境・社会・経済への影響について学んだ。

第3回「働き方と暮らした」では、南三陸町で開催されたワーケーション(休暇先でのリモートワーク)モニタリングの取り組みに着目。

地域の良さを生かした働き方について考えた。第4回は「南三陸の食」をテーマにライブ配信にて開催。銀鮭養殖漁師の方によるライブクッキングを中心に、銀鮭養殖発祥の地である南三陸町や、漁師の仕事などについての質疑応答も行われた。

学生プロジェクトチームの広報担当である三原黎香さん(国教2)は、「4回のイベントから共有して伝わってきたのは、南三陸の『人の魅力』でした。オンラインの環境を活かし、南三陸町の皆さまからの生活を、参加者が各々の生活に落とし込むことができただけではないでしょう。南三陸を訪れる日か。南三陸を訪れる日か。南三陸を訪れる日か。南三陸を訪れる日か。」

町と学生との交流を今後19年同教授。

植田今日子教授逝去
2月11日、肺がんのため死去。47歳。

同教授は1973年大阪府生まれ。97年京都府立大学卒業、99年ロンドン大学大学院修士課程修了、02年筑波大学大学院環境科学研究科修士課程修了、08年同人文社会科学部(社会学)を卒業。東北学院大学を経て、16年本学総合人間科学部社会学科准教授に着任、

著書に『存続の岐路に立つむら』など。専門は社会学、文化人類学、民俗学。

山崎福壽名誉教授逝去
1月11日死去。66歳。

同教授は1954年埼玉県生まれ。76年本学経済学部経済学科卒業、78年同大学院経済学研究科経済学専攻修士課程修了。83年東京大学大学院経済学研究科博士課程満期退学。博士(経済学)。

2021年度学費の請求と納入期限について

(1) 学部生(2019年度以前入学の国際教養学部生を除く)・大学院生・助産学専攻科生

発送日・納入期限	春学期	秋学期
振込用紙発送	4月16日(金)	9月27日(月)
納入期限	5月31日(月)	11月5日(金)

注 2021年度新生は、入学手続きで春学期学費のみを納入の場合、秋学期振込用紙を送付します。

(2) 2019年度以前入学の国際教養学部生

発送日・納入期限	春学期	秋学期
振込用紙発送	5月11日(火)	10月19日(火)
納入期限	6月8日(火)	11月15日(月)

注 第2及び第4クォーターの追加登録期間に履修登録をした場合は、追加で履修登録分の授業料の振込用紙を送付します。